

2024年9月5日

AGCグループ、「Cradle to Cradle Certified[®]」を取得 —当社アジア拠点における建築用フロートガラスおよびコーティングガラス製品として初—

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）のグループ会社であるアサヒマス板硝子株式会社（PT Asahimas Flat Glass Tbk, 本社：インドネシア）とAGCフラットガラス・タイランド・パブリック株式会社（AGC Flat Glass (Thailand) Plc., 本社：タイ）は、両社で製造する建築用フロートガラスおよびコーティングガラスについて、環境商品に関する第三者認証「Cradle to Cradle Certified[®]（以下、C2C認証）」を取得しました。アジア地域^{*1}で製造・販売する建築用ガラスでの本認証取得は、AGCグループとして初となります。



C2C認証は、ドイツの環境保護促進機関 EPEA^{*2}より、次の5つのカテゴリにおいて審査され、それらを総合的に評価し、製品に対して付与されるものです。今回、当該の製品群はブロンズレベルの認証を取得しました。

【審査カテゴリ】

- Material Health（原材料の健康性）
- Material Reutilization（原料・部品のリユース）
- Renewable Energy & Carbon Management（再生可能エネルギー利用とカーボンマネジメント）
- Water Stewardship（水資源の適正管理）
- Social Fairness（社会的な公平さ）

今回のC2C認証取得は、当該製品の持続可能性を証明するものです。加えて、当該製品を使用する建築物が、LEED^{*3}やWELL Building Standard^{®*4}、グリーンスター^{*5}などの様々なグリーンビルディング認証を取得することに貢献します。

AGCグループは、中期経営計画 **AGC plus-2026** の主要戦略である「サステナビリティ経営の深化」の中で、3つの社会的価値を示しています。このうちの“Blue Planet”では、原料の調達からお客様の使用に至るまでの環境負荷の低減を掲げ、持続可能な地球環境の実現を目指しています。本認証取得を機に、建築産業のグリーン購入・調達にも一層貢献していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 小川 知香子

（担当：有木 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)）

個人情報 は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。

〈注釈〉

*1 AGCグループのアジア地域での建築用ガラスのマーケティングおよび販売は、AGC株式会社建築ガラスアジアカンパニーのアジア地域本社として、AGC Glass Asia Pacific社（設立 2013 年、本社：シンガポール）が行っています。本件を含めた同社のサステナビリティの取り組みについては、同社サイトをご覧ください。（[Sustainability & Sustainable Glass for Buildings - AGC Glass Asia Pacific](#)）

*2 公式サイト：[EPEA – Part of Drees & Sommer](#)

*3 米国グリーンビルディング協会によるグリーンビルディングの認証プログラム。（[LEED rating system | U.S. Green Building Council](#)）

*4 米国International Well Building Institute™によるグリーンビルディングの認証プログラム。（[WELL Building Standard®](#)）

*5 オーストラリアのグリーンビルディング協会によるグリーンビルディングの認証プログラム。（[Green Building Council of Australia](#)）

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 株式会社 広報・IR 部長 小川 知香子

（担当：有木 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)）

個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従っ て お取 扱 い を さ せ て い た だ き ま す 。